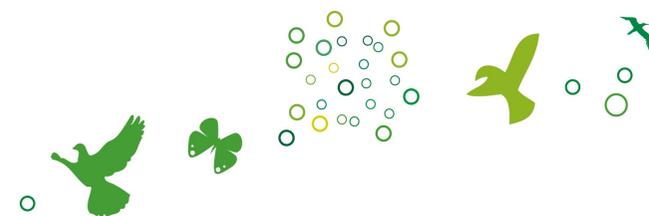




Japan Environmental Management  
Association for Industry



# 資源・リサイクル促進センター のご紹介



2024年11月  
一般社団法人産業環境管理協会

Copyright(C)2013 JEMAI All Rights Reserved





## 目次

資源・リサイクル促進センターについて	04
表彰関連事業、普及促進事業	05
環境学習支援事業	09
動向調査・情報提供	12
国際標準化事業	14
その他の事業	17



当促進センター\*は、資源のムダの発生抑制、再利用、再生利用の推進により資源の効率的な利用・循環を促進し、脱炭素、環境の保全、経済の振興にも寄与しつつ、持続可能な社会を実現することを目的として活動しています。

\*2012年4月に旧財団法人クリーン・ジャパン・センターの事業を引き継いで発足

## 主な事業

- **表彰関連事業**  
資源循環技術・システム表彰、リサイクル技術開発本多賞、3R推進功労者等表彰(事務局運営)
- **普及促進事業**  
3R先進事例発表会、レアメタルリサイクル促進事業(事例調査、事業者、消費者等への情報提供等)
- **環境学習支援事業**  
小中高校生向け環境リサイクル学習ホームページをメインとする環境学習を支援する情報発信、コンテンツ開発、イベントの企画・運営など
- **動向調査・情報提供**  
リサイクルデータブック作成(統計データ、法制度、施策、海外情報等の情報を取集・整理して公開)
- **国際標準化事業(国内審議団体事務局)**  
ISO/TC 207(環境マネジメント)規格、ISO/TC 323(サーキュラーエコノミー)規格

# 表彰関連事業

資源循環技術・システム表彰、リサイクル技術開発本  
多賞、3R推進功労者等表彰（事務局運営）

# 普及促進事業

3R先進事例発表会、レアメタルリサイクル促進事業  
（事例調査、事業者、消費者等への情報提供等）

## 表彰関連事業

### 資源循環技術・システム表彰

廃棄物の発生抑制(リデュース)、使用済みの物品の再利用(リユース)、再資源の有効利用(リサイクル)に寄与し、資源循環に係る先進的で高度な技術または社会システムの特長を有する優れた事業や取組みを広く公募・表彰し、その奨励・普及を図ることにより、循環ビジネスを振興することを目的としています。本発表は、昭和50年度に設立し、現在に至っています。



#### 賞の種類(過去の実績)

- ・ 経済産業大臣賞
- ・ 経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞 (旧 経済産業省技術環境局長賞)
- ・ 一般社団法人産業環境管理協会会長賞



#### 資源循環技術・システム表彰

一般社団法人産業環境管理協会、経済産業省の協賛により、廃棄物の発生抑制、再利用の有効化、再資源の有効利用に寄与する先進的で高度な技術または社会システムの特長を有する事業や取組みを広く公募・表彰し、その奨励・普及を図ることにより、循環ビジネスを振興することを目的としています。本発表は、昭和50年度に設立し、現在に至っています。

- 1 表彰対象**
  - (1) 廃棄物の発生抑制事業
  - (2) 再利用の有効化促進事業
  - (3) 資源の有効利用促進事業
  - (4) 資源循環技術・システムに関する研究開発事業
  - (5) 資源循環技術・システムに関する人材育成事業
  - (6) その他
- 2 賞の種類**
  - (1) 経済産業大臣賞
  - (2) 経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞
  - (3) 一般社団法人産業環境管理協会会長賞
  - (4) 特別賞
  - (5) 奨励賞
  - (6) システム・システム賞
- 3 応募要項**
  - (1) 対象業種
    - 製造業
    - 建設業
    - 流通業
    - サービス業
    - その他
  - (2) 応募資格
    - 法人
    - 個人
  - (3) 応募期間
    - 毎年10月1日～10月31日
  - (4) 応募方法
    - インターネット
    - 郵送
- 4 審査・表彰**
  - 応募書類を審査し、最終選考を経て表彰式を開催します。

2023年10月10日  
一般社団法人産業環境管理協会  
後援：経済産業省



一般社団法人産業環境管理協会

# 資源・リサイクル促進センター

## 表彰関連事業

### リサイクル技術開発本多賞表彰

本賞は、長年、廃棄物のリサイクルに携わってこられた故 本多淳裕先生(元大阪市立大学工学部教授、元(財)クリーン・ジャパン・センター参与)が自らの著書出版印税を3R関連技術開発に従事する研究者・技術者等へ提供し、研究および技術開発を奨励する制度として提案され、平成8年度に創設された表彰制度です。3Rに関する技術の発展に貢献する報文等を発表された個人やグループを対象に、毎年公募・表彰しています。





一般社団法人産業環境管理協会

# 資源・リサイクル促進センター

表彰関連事業

普及促進事業

## 3R先進事例発表会

資源循環技術・システム表彰受賞者、リサイクル技術開発本多賞受賞者による先進的で高度な3R・資源循環に係る研究・事業・取組について発表する3R先進事例発表会を開催し、受賞内容の普及啓発、ビジネス展開を支援しています。



# 環境学習支援事業

小中高校生向け環境リサイクル学習ホームページをメインとする環境学習を支援する情報発信、コンテンツ開発、イベントの企画・運営など



一般社団法人産業環境管理協会

# 資源・リサイクル促進センター

## 循環経済学習支援事業(webサイト)

ごみ・3Rをわかりやすく!

### 小学生版



小学生のための環境リサイクル学習ホームページ

リデュース Reduce リユース Reuse リサイクル Recycle

調べてみよう

- 「ごみ」ってなに
- 家庭のごみを調べてみよう(種類、出し方、量)
- 家庭のごみをかくるとどう?
- リサイクル化できる? (なぜかまわすの?、なぜリサイクルするの?)

考えてみよう

- わたしたちができること
- めざす社会

もっと調べてみよう

もっと調べてみよう(3R)

資源循環をわかりやすく!

### 中高生版



中学生・高校生・市民のための環境リサイクル学習ホームページ

どうしたら資源を持続可能に使えるの?

衣・食・住の資源循環・3R

衣

- 衣類の廃棄は?
  - 衣類の廃棄、廃棄・リサイクル、焼却の割合
- 繊維リサイクルは?
  - 衣類の廃棄、衣類・リユース、リサイクル
- 3Rの取り組みは?
  - 衣類のリサイクル

食

- 食品の廃棄は?
  - 食品の廃棄、食品・リユース、食品リサイクル
- 食品のリサイクルは?
  - 食品の廃棄、食品ロス、食品リサイクル
- 3Rの取り組みは?
  - 食品ロス、食品ロス、食品リサイクル

住

天然資源由来 99.7%

リサイクル原料由来 99.9%

制作ご協力者の皆さま

農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、横浜市、札幌市、志布志市、松本市、(一社)日本鉄鋼連盟、(一社)日本アルミニウム協会、日本プラスチック工業連盟、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)電池工業会、(一社)JBRC、イオングループ、(株)ウジエーパー、(株)エヌ・シー・エス、キュービー(株)、スターバックス コーヒー ジャパン(株)、大栄環境(株)、(有)田代商店、(株)チクマ、帝人フロンティア(株)、ナカノ(株)、(株)日本フードエコロジーセンター、(株)ファミリーマート、(有)ブライトビック、ユニー(株)など



# 動向調査・情報提供

リサイクルデータブック作成(統計データ、法制度、  
施策、海外情報等の情報を取集・整理して公開)



## 動向調査・情報提供：リサイクルデータブック

日本



<掲載例>

1. 物質フロー
2. 統計データ
  - ・ 一般廃棄物
  - ・ 産業廃棄物
  - ・ 産業別廃棄物・副産物・使用済物品
3. リサイクル関連政策一覧

この1冊でわかる  
資源循環の全体像  
廃棄物、3Rの統計データ



2024年7月

一般社団法人 産業環境管理協会

EU



<掲載例>

1. EUの資源消費、資源効率
2. 統計データ
  - ・ EUの廃棄物(産業廃棄物+都市ごみ、容器包装廃棄物、電気・電子機器、使用済み自動車)
  - ・ EUのごみ処理

アメリカ



<掲載例>

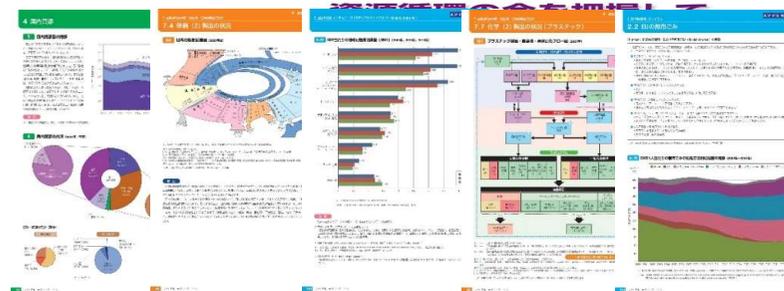
1. 統計データ
  - ・ アメリカの廃棄物(都市ごみ)
  - ・ アメリカのごみ処理

国連



<掲載例>

1. 国連SDGsインディケータ



# 国際標準化事業

ISO/TC 207(環境マネジメント)規格  
ISO/TC 323(サーキュラーエコノミー)規格



一般社団法人産業環境管理協会

資源・リサイクル促進センター

## 国際標準化事業:ISO/TC 207(環境マネジメント)規格

当協会は、ISO/TC 207(国際標準化機構／技術委員会「環境マネジメント」)の国際標準化活動において4つのSub-Committee(SC)、すなわちSC3(環境ラベル)、SC4(環境パフォーマンス評価)、SC5(ライフサイクルアセスメント)、SC7(温室効果ガス及び気候変動マネジメントに関連する活動)の国内審議団体を務めています。

ISO/TC 207では、近年の状況を反映し、持続可能な開発を支援するために、環境のみならず、経済、社会的側面を含む多くの規格が開発されています。

当協会は、国内審議団体として、我が国の産業政策等と齟齬のないよう行政、関連団体、及び業界団体と連携し、国際的なコンセンサスを得られるよう、規格開発の推進に貢献しています。

[www.jemai.or.jp/standard/tc207.html](http://www.jemai.or.jp/standard/tc207.html)

The screenshot shows the ISO/TC 207 website page. At the top, there is a navigation bar with the ISO logo and links for Standards, About us, News, Taking part, and Store. The main heading is "← Technical Committees" followed by "ISO/TC 207 Environmental management". Below this, there is an "About" section with the following details: Secretariat: SCC; Committee Manager: Mrs Christine Geraghty; Chairperson (until end 2023): Ms Sheila Leggett; Vice chairperson (until end 2024): Mr Daniel Trillos; ISO Technical Programme Manager [TPM]: Mr José Alcorta; ISO Editorial Manager [EM]: Ms Claudia Lueje; Creation date: 1993. The "Scope" section states: "Standardization in the field of environmental management to address environmental and climate impacts including related social and economic aspects, in support of sustainable development." Under "Excluded:", it lists "test methods of pollutants, setting limit values and levels of environmental performance, and standardization of products." There are also two notes: Note 1: "TC 207 is focused on environmental management systems, auditing, verification/validation and related investigations, environmental labelling, environmental performance evaluation, life cycle assessment, climate change and its mitigation and adaptation, ecodesign, material efficiency, environmental economics and environmental and climate finance." Note 2: "Where appropriate, the ISO/TC 207 works in cooperation with existing committees on subjects that may support environmental management."



## 国際標準化事業:ISO/TC 323(サーキュラーエコノミー)規格

ISO Standards About us News Taking part Store

← Technical Committees

### ISO/TC 323

#### Circular economy

**About**

Secretariat: **AFNOR**  
Committee Manager: **Mme Mélissa De Medeiros**  
Chairperson (until end 2025): **Mrs Catherine Chevauche**  
ISO Technical Programme Manager [TPM]: **Ms Monja Korter**  
ISO Editorial Manager [EM]: **Ms Sanjali Jain**  
Creation date: 2018

**Scope**

Standardization in the field of Circular Economy to develop frameworks, guidance, supporting tools and requirements for the implementation of activities of all involved organizations, to maximize the contribution to Sustainable Development.

Excluded:

- Aspects of Circular Economy already covered by existing committees.

Note: In parallel, the ISO TC 323 works in cooperation with existing committees on subjects that may support Circular Economy.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

This committee contributes with 4 standards to the following Sustainable Development Goals

当協会は、ISO/TC 323(国際標準化機構/技術委員会「サーキュラーエコノミー(循環型経済)」)の国内審議団体を務めています。

ISO/TC 323では、持続可能な開発への貢献を最大化するため、関連するあらゆる組織の活動の実施に対する枠組み、指針、支援ツール及び要求事項を開発するためのサーキュラーエコノミーの分野の標準化を行っています。

### 2024年5月発行の国際規格:

- ISO 59004: Circular economy - Terminology, principles and guidance for implementation (用語定義、原則、実践の手引き)
- ISO 59010: Circular economy - Guidelines on the transition of business models and value networks (ビジネスモデルとバリューネットワークの移行に関する指針)
- ISO 59010: Circular economy - Measuring circularity framework(サーキュラリティの測定と評価)
- ISO/TR 59032: Circular economy - Review of business model implementation (サーキュラーエコノミー導入・実装に関する既存のビジネスモデルの事例)

### 2024年10月発行の国際規格:

- ISO 59014: Sustainability and traceability of secondary materials recovery - Principles and requirements (二次材料回収(回復)のサステナビリティとトレーサビリティに関する要求事項 \*TC 207との共同開発)

当協会は、国内審議団体業務の主管として、我が国の資源循環政策等と齟齬が生じないよう行政、関連団体、及び業界団体と連携し、国際的なコンセンサスを得られるよう、規格開発の推進に貢献しています。

[www.jemai.or.jp/standard/tc323.html](http://www.jemai.or.jp/standard/tc323.html)

# その他の事業

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の事務局運営



一般社団法人産業環境管理協会

## 資源・リサイクル促進センター

### リデュース・リユース・リサイクル推進協議会(事務局運営) 略称:3R推進協議会

3R・資源循環の活動を推進し、持続可能な循環型社会の構築を目指すため、消費者・産業界などの団体や行政等が連携して、様々な活動を展開中です。

(一社)産業環境管理協会は、当協議会の会員であり、また、事務局を担っています。

#### 【主な活動】

##### 3R推進功労者等表彰の実施

3Rの顕著な実績を挙げた個人、グループ、事業所等を毎年、表彰しています。



表彰式の様子

##### 3Rキャンペーンマークの利用推進

3R活動のシンボルとして団体、地方自治体、企業等の3R活動に使っていただき、3Rへの参加と協力を呼びかけています。



##### 3R推進ポスターの製作

アイキャッチな啓発ポスターを毎年製作して、オフィスや公共機関等において、3Rの推進を呼びかけています。



2024年度3R推進ポスター

##### セミナーの開催

行政や業界などの3Rの最新動向・施策等を情報共有する場として、会員団体その会員企業等に向けたセミナー等を開催しています。



セミナーの様子

協議会ホームページでは、表彰で受賞した取り組みやセミナーの資料を公開しています。

 [www.3r-suishinkyogikai.jp/](http://www.3r-suishinkyogikai.jp/)



一般社団法人産業環境管理協会

資源・リサイクル促進センター

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会(事務局運営) 略称:3R推進協議会



RRR 10月は3R推進月間です  
減らそう 繰り返し使おう 活かそう  
リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

2024年度 3R推進ポスター



**3R** とは Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称です。

**Reduce(リデュース)**は、製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を少なくすること。**耐久性の高い製品の提供や製品寿命延長のためのメンテナンス体制の工夫なども取組のひとつです。**

**Reuse(リユース)**は、使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること。**その実現を可能とする製品の提供、修理・診断技術の開発、リマニュファクチャリングなども取組のひとつです。**

**Recycle(リサイクル)**は、廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること。**その実現を可能とする製品設計、使用済製品の回収、リサイクル技術・装置の開発なども取組のひとつです。**

(2016年記載)



資源・リサイクル促進センターHP  
🌐 [www.cjc.or.jp/](http://www.cjc.or.jp/)



事業に関するお問合せ  
🌐 [www.cjc.or.jp/fmail](http://www.cjc.or.jp/fmail)

